



食みかけの 林檎に歯当て 人を見る

高浜 虚子

充実の秋に・・・。

4月に始まった令和3年度も折り返しを過ぎて、後半になりました。緊急事態宣言の出ていたコロナ感染症は、9月、10月と過ぎていくごとに感染者数が減り、少しずつ通常の社会に戻ってきたような感じがします。とはいえ、今後の推移は全くわかりません。学校では、引き続き感染対策を十分にしながら、いろいろな活動を実施していきます。毎朝の検温、リバーへの入力あるいは、健康管理表への記入などもお願いします。そして、御家族の方々の健康管理もお願いします。9月に緊急事態宣言が発令されたために、行事などで変更がありました。運動会も10月30日に実施です。各学年の行事なども時期が変わったり、内容を簡略化したりしながら、子どもたちの思い出に



< 5年生自然体験教室です。 >

残るような形でできるだけ実施できるようにを考えています。

秋には、いろいろな言葉がつかます。「スポーツの秋」「読書の秋」「学問の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」などたくさんあります。それだけこの季節が、何をやるにも適しているということの表れなんだと思います。子どもたちはどんな「秋」を楽しむのでしょうか。学校のこの時期は「充実の秋」です。どの学年も、教室の学びから外に出て広がる学びを予定しています。

後期に入り、学級だけではなく児童会や委員会の組織が変わりました。先日任命式で右記の8名のみなさんに任命書を渡しました。6年生にとっては、小学校生活最後の半年間です。まとめと後輩への引き継ぎを意識して活動してほしいと思います。

< 思春期講座 >

6年生は、思春期講座で羽畑あい子先生のお話を聴きました。ストレスを感じる時やその解消法、そして、友達との上手な関わり方など実技も交えながらのお話でした。これから、いろいろなこと



に悩む思春期にさしかかります。このお話を思い出してよりよい人間関係を築けるとよいと思います。

新しいリーダーです。

3年度後期児童会、委員会

児童会長
放送委員長・図書委員長
体育委員長・保健委員長
環境委員長・広報・音楽委員長
生活委員長
が、決まりました。

お知らせです。

11月から渡邊陽子先生が週に2日天城小学校に来てくださいます。人数の多い5年生を中心に授業に入ります。

11月の行事予定

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、行事等は変更する場合があります。

日	曜	給	行事	日	曜	給	行事
1	月		振替休日	16	火	○	136年特支学級道徳授業参観会・ 懇談会 6年修学旅行説明会 PTA広報部会
2	火	○	クラブ活動(最終)	17	水	○	オンラインジュニアアカデミー
3	水		文化の日	18	木	○	読み聞かせ 西川SC勤務日 なかよし活動
4	木	○	読み聞かせ	19	金	○ 弁	避難訓練(火災) フッ素洗口 柏木SSW勤務日 1年のみ弁当
5	金	○	朝会 フッ素洗口 柏木SSW勤務	20	土		
6	土		伊豆市児童作品展①	21	日		
7	日		伊豆市児童作品展②	22	月	○	4年男女共同参画出前授業
8	月	○	下校時刻変更16:00 委員会活動	23	火		勤労感謝の日 市青少年健全育成大会
9	火	○		24	水	○	
10	水	×	家庭読書の日 特別日課3時間授業 (田教研一斉授業研究会)	25	木	○	読み聞かせ あんしん教室
11	木	○	読み聞かせ 薬学講座 西川SC勤務日	26	金	○	児童集会 フッ素洗口 西川SC勤務日
12	金	弁	245年道徳授業参観会・懇談会 フッ素洗口 PTA運営委員会 5年PTA保護者会 1年校外学習	27	土		親子劇場(生きいきプラザ)
13	土			28	日		資源回収②
14	日			29	月	○	
15	月	○		30	火	○	

体験の秋 「5年自然体験教室」



10月15日(金)に、5年生が天城ふるさと広場キャンプ場で、自然体験教室を行いました。本来ですと、1泊2日の教室になるのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊をしない日帰り教室となりました。残念な気持ちもあったことと思いますが、子どもたちはスローガン「みんなかがやく 楽しい自然体験教室にしよう」に向かって、1日を精一杯過ごすことができました。

午前には、浄蓮の滝を見学した後に、太郎杉に向かってグループごとにハイキングをしました。子どもたちは協力して時間を守り、皆無事に到着することができました。午後には、ふるさと広場に入所し、夕食作りに取り組みました。ここでも新型コロナウイルス感染症対策で調理ができないため、薪を燃やしてお湯を沸かし、レトルトのカレーを温めて食べました。夕方には、ナイトイベントとして、広場周辺をみんなでウォーキングしました。日が隠れた中の散策は、学校では味わえない体験で、子どもたちの心に残ったことでしょう。

例年、自然体験教室と言えば、キャンプファイヤーや仲間と枕を並べる宿泊体験が、子どもたちの一番の思い出となります。

では、それらができなかった今回の自然体験教室では、子どもたちの心に、何が思い出として残ったのでしょうか。

願わくば、コロナ禍の中、自然体験教室が実施できた喜びを感謝し、限られた活動でも協力して行った仲間との思い出を大切にしてもらえたらと思います。

学校を出発する前に校長は子どもたちに語りかけました。

「自然体験教室を成功させた5年生は、来年、立派な6年生として活躍することができる。」

来年への期待が膨らむ、5年生の自然体験教室でした。



(文責：鈴木昭則)